

分断社会と 若者の今



吉川 徹

大阪大学大学院人間科学研究科 教授

1966年生。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了

現在、大阪大学大学院人間科学研究科 教授

【主要業績】

『日本の分断 切り離される非大卒若者たち』(光文社、2018年)

『現代日本の社会の心 計量社会意識論』(有斐閣、2014年) 他

なぜ若者たちは「分断」されるのか
拡大しつつある**学歴分断**とは

「若者論」にありがちな、印象論や若者を一括りにした議論ではなく、データに基づく議論を行うことで、若者の「今」を分析する。政治、幸福、消費、労働、ジェンダー、学歴などのさまざまなトピックから、若者の意識の中にある分断を描き出し、若者たちの心に迫る。

開催日時

2019年 6月 23日 (日) 14時～ [開場 13時45分]

開催場所

丸善 京都本店 地下2階特設会場
入場料無料 (定員 30名)

申込方法

店頭または電話にてお申込みください。 丸善京都本店 TEL.075-253-1599

講演会のテーマの本



好評発売中

分断社会と若者の今

吉川 徹, 狭間 諒多朗 編

四六判 288 ページ

定価 2500 円+税

ISBN978-4-87259-679-3

発行：大阪大学出版会

若者は本当に保守化したのか。本当に生活満足度は高いのか。自分を肯定する若者は多いのか。現状を肯定するようになっていくのだろうか。

「若者論」で時に印象論として語られるこれらの事柄は、すでに豊かになった今の日本社会で、若者たちが革新を求めず、現状を肯定するようになったことのアラワレとして捉えられ、広い意味で若者が保守化したという言説にも結びつけられている。

本書では、大規模社会調査データに基づき、若者の「今」を客観的に描き出す。権威主義、政治、現在志向、幸福、消費、労働、ジェンダー、高学歴志向等の幅広いトピックを扱い、若者の意識の中にある「分断」に着目しながら分析する。